

しごとサポート!

第30号

※障害のある方が安心して働き続けることができるように、仕事に関する相談や支援を行っている文京区の支援機関です。



株式会社ゾフ

【会社概要】
株式会社 ゾフ
東京都港区北青山3-6-1
オーク表参道 6 階
電話番号: 03-5468-8675
<https://www.zoff.com>

障害者雇用
×
能力開発支援

上: オフィス「Zoff See-site」のエントランス前にて。右手から、本多氏、斎藤氏。

大切なのは、もともと持っているものをどれだけ引き出せるか。最初の一步を踏み出すのは、勇気がいるのだと思う。管理者としてできるのは、『勇気を出すという成長』を後押しすること。もともと持っているものを開放する空間、環境、関係をつくることだと考えています。

仕事に就くこと、職場に定着すること、そのどちらも就労を望む方にとって大きなことです。働くことをさらに充実させる要素には、モチベーションを保つ、スキルをあげる、キャリアを重ねるなどがあります。

今回は、従業員の方のモチベーションとキャリアの向上のための仕組みづくりに取り組まれている株式会社ゾフ店舗運営部 店舗支援・EC運営グループの本多さん、斎藤さんにお話を伺いました。

◇職責でその人の潜在能力が引き出される

店舗支援・EC運営グループは複数のチームに分かれ、チーム内役職として、チーフ、リーダー、サブリーダーという役職が設けられています。役職任命は、管理者が能力を総合評価して、声かけをするスカウト制で行われます。役職抜てきの声をかけられた際、みなさんはどんな反応なのでしょう。ほとんどの方が「え、私が?」という反応なのだそうです。自分に自信が持てない、自己発信が少ない方も多く、打診にびっくりされてしまうそうです。管理

者は、なぜ抜てきしたか、その理由を丁寧に伝え、最終的には本人に決断してもらいます。役職を引き受けることを決断された方は、その後どんなご様子か伺うと、「ガラッと変わります」と本多さん。考えるようになったな、面白い発想するな、こんなこともご自身でできるようになったんだな、とふと感じる機会が増えるそうです。続いて、感心してしまったというエピソードを教えてくださいました。「リーダーミーティングでは、リーダーのみんなが議題を出し合い、話し合いが自然と生まれ、具体的な役割分担も話



上: エントランスの天井付近の視力計を模したデザインのパネル。

し合いの中で決定される。管理者がノータッチという日も少なくないんです」と。株式会社ゾフが掲げる障害者雇用のテーマである「自治自立」を体現する景色がそこには広がっています。職責を得ると、こんなにも生き生きされるものではないかと、とお尋ねすると、本多さんから「おそらくはみんなもともと自発性をもって仕事をすることや、発信しながら仕事をする事ができるひとだったのでは、と思う。管理者としてできるのは、『勇気を出すという成長』を後押しすること。もともと持っているものを開放する空間、環境、関係をつくることだと考えている」とお話をいただきました。



◇教育制度の充実で個々人のスキルアップを後押し

株式会社ゾフでは、昨年はじめからスキルアップのための教育制度が始まりました。得意不得意はあっても、得意な人に頼らないこと、受ける業務の幅を広げ、保つことが



上:エントランスのネオン。駅名は品川シーサイド。オフィスはシーサイト。「見る」のシーに波模様が素敵。左:インタビューの様子。

その目的です。いま取り組まれている業務内容は大きく分けて5種類あり、それぞれの業務ごとに段階的な教育制度が設けられています。齋藤さんが、モチベーションアップの工夫を組み込みながら、制度の構築をされました。各段階ごとに習得度をはかるテストが実施され、クリアすると会社から認められた証である、認定証が発行されます。認定証は各段階ごとにデザインが異なり、段階があがるほど豪華になっていくのだそうです。実技試験に関しては実施日が決まっています、そこに各々で期日までに申し込んだり、実技試験を突破後、希望者はその先の「教えられる立場を目指す段階」への挑戦ができるなど、任意でのアプローチが任されています。教育制度においても、必要なことはなにか自ら考え自ら動く…「自治自立」のお考えが表現されていると感じました。 <インタビュー・構成:豊田友香里>

C O L U M N

就労パスポートとは



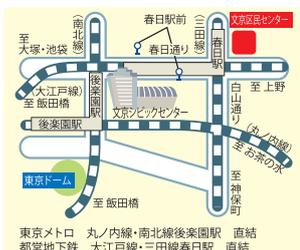
面接などで相手先に自分の長所や短所など、自分の事を上手に伝えるのが苦手な方は多くいらっしゃるかと思います。特に、障害がある方が働く際には相手方に障害特性や配慮事項など自分の事を伝えるのがその職場での安定した仕事に大きく影響します。「働きたいけれど自分のアピールポイントや会社に配慮してほしいことを伝えられるか心配だ」、「現在働いているけれど、配慮してほしいことを見直したい」と感じている方もいらっしゃるかと思います。

その際に活用できるツールのひとつが、就労パスポートです。就労パスポートは働く上での自分の特徴やアピールポイント、希望する配慮などを整理し、就職や職場定着に向けて職場や支援機関と話し合う際に活用できるツールです。これから仕事を考えている人も今仕事をしている人も利用してみたいかがでしょうか。下記URLから利用することが出来ます。まずは「活用の手引き」を参照下さい。

(文責:鴉田慎)

○厚生労働省 (mhlw.go.jp)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/shougaisakoyou/06d_00003.html



就労支援のお問い合わせ

TEL 03-5805-1600 FAX 03-5805-1601 E-mail: daihyo@bunkyo-shuroushien.jp
 文京区民センター1階 文京区障害者就労支援センター
 〒113-0033 文京区本郷4-15-14

文京区障害者就労支援センター通信「しごとサポート」 第30号(令和5年3月15日発行)
 発行■文京区障害者就労支援センター 毎回、障害のある人の「働く」を発信していきます。次号もご期待ください。